

平成29年度 第1回藤枝市子ども・子育て会議 議事録

日 時：平成29年6月26日（月） 午前10時00分～午前11時30分

場 所：藤枝市役所 3階 303会議室

出席委員：松永委員長 深澤副委員長 山下委員 瀧下委員 伊藤委員 作原委員
安藤委員 大石委員 村越委員 鈴木委員 稲葉委員 伊井委員 大石委員
松浦委員 藤井委員

委員長及び副委員長選出

児童課長：それでは、委員長副委員長の選出に入りたいと思います。本日お配りした資料のNo.1「藤枝市子ども子育て会議条例」をご覧ください。第5条第1項に「子育て会議に委員長及び副委員長各1人を置く。」また、2項に「委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。」といったことが規定されています。委員の皆様方にはまず、委員長の選出をお願いしたいと思いますが、どなたかご推薦ありますでしょうか。

委 員：委員長は松永由弥子先生をお願いしたいと思います。2期4年間勤められたその年数だけでなく、先生のご経験や学識は、他の方をもっては代えられないと思いますので、松永由弥子先生を推薦したいと思います。

児童課長：ありがとうございます。松永委員を委員長にご推薦する意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

委 員：異議なし。

児童課長：ありがとうございます。松永委員よろしいでしょうか。

松永委員：はい。

児童課長：それでは松永委員に委員長をお願いしたいと思います。続きまして、副委員長の選出をお願いしたいと思います。どなたかご推薦ありますでしょうか。

委 員：副委員長は、子ども・子育て支援に関する事業に直接従事している、私立幼稚園・認定こども園協会代表の深澤さんが適任だと思いますので、深澤さんを推薦します。

児童課長：ありがとうございます。深澤委員を副委員長に推薦するご意見をいただきましたが、いかがでしょうか。

委 員：異議なし。

児童課長：ありがとうございます。深澤委員よろしいでしょうか。

深澤委員：はい。

児童課長：それでは、深澤委員に副委員長をお願いしたいと思います。

議 事：(1) ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21の改定について

(資料2に基づき事務局が説明)

委 員：現行のプランが実際の数値とかい離があれば変えるとのことだが、資料を見ると、策定のスケジュールが記載されている。変えることが前提なのか。検証した結果、現行とかい離がないと

なれば、そのままなのか。

事務局：特に保育所の部分についてはまだまだ足りない部分があるので、計画を変えていきたい。資料の6に記載のある1から16の対象事業については、当初の目標値と大きくかい離がなければそのままの数値を平成32年度まで使用する。

委員：目標値とだいたい合致している部分はこの計画書で良いのか。

事務局：改訂版の計画書には変更したところを掲載する。変える必要のないところは元の計画をそのまま使用する。

委員：もともと5年間のスパンで計画しているが、いろいろ変えてしまうと、最初の見込みが甘かったのかという事になる。平成32年度から新たなプランを作るのであれば、そこまでは今の現行プランで良いのではないか。もっといえば、5年ではなく3年等、短いスパンの中で現状に即したプランを作れば改定する必要もないのでは。

事務局：国から、中間年の見直しのための考え方について指針が示されている。「平成29年度以降も引き続き、保育の受け皿の整備をしなければ待機児童の発生が見込まれる場合」というのが見直しの基準にある。現在、藤枝市は待機児童が発生しており、保育所等の整備を行わなければ今後も発生する恐れがある状況であるため、国の指針をふまえて、今回、中間年の改定をすることに至った。

委員長：最近社会変化が激しいので、5年先を見越して計画を立てても、かなりの変動が生じる場合もあり、そういう意味で国も、弾力的な考えのもと見直しをかける必要があるとしているのでは。

副委員長：子どもの数がどのように推移していくのか、児童数が大きく影響してくる。毎年、子どもの数を把握して見直していく必要があるのでは。これからの藤枝市の子ども数が重要になると思う。

委員長：ここ何年間かは増えているのか？

事務局：未就学児の子ども数は、平成26年3月末に7,677人だったのが、平成29年3月末には7,379人になっている。藤枝市は転入者が多いが、未就学児をみると減っているのが現状。

委員長：ふじえだ子ども・子育てスマイルプラン21の改定についてはご了承いただいたという事で良いか。何か問い合わせ等あれば、事務局までお願いしたい。

議 事：【報告事項】(1) 平成29年度子ども・子育て支援重点施策について (資料3に基づき事務局が説明)

委員：資料3の2ページにある施設整備の補助金に関して、国の補助金が削減されることについて、県市長会の会長である藤枝市長が、関係する首長と一緒に関係省庁に陳情に行ったと聞いている。国は子育て安心プランを出しておきながら、この補助金が削減されるという話ではまずいので、ぜひこの会議でも、そういったことに関しては発言していきたいと感じた。

事務局：この認定こども園の施設整備に関しては、国の財源が、厚労省分と文科省分の2つの省からの交付金となっており、厚労省は今年度も満額いただくことが決まっているが、文科省分が、年度当初、本来いただくべき交付金の65%という内示がきた。その後、国でも修正し、90%程度に回復してくる予定。自治体としては、国と地方が同じ方向を向いて待機児童の解消にあたっているという状況の中で、文科省が現時点でこのようなスタンスをとっていることは、市

長も疑問視しており、県の市長会会長の立場でもあることから、6月に文科省に要望活動に行き、文部科学大臣に直接働きかけてきた。大臣からは努力するという言葉をいただいている。市としても、関係機関で協力して、声を上げているという状況。

委員長：この会議として近々に対応したほうが良いか。

副委員長：希望としては全額ほしい。

委員長：どのように対応するか。

委員：90%の問題がどうなるか、情勢も見えない。

委員長：私たちもしっかり状況を把握できるように、情報をいただくようにしたい。

委員長：その他にどうか。

委員：4ページの病児病後児保育について、預かる時間や職員数、預かっている最中に病状が急変した場合の対応等についてお聞きしたい。

事務局：預かる人数については、病児2名程度、病後児については各園2名程度となっている。病児保育について、職員は、基本的に看護師1名と保育士1名をつけることになっている。国の定める基準としては、看護師は、利用児童10人について1名以上の配置、保育士については、児童3名につき1名以上の配置となっている。基本的には常駐を原則としているが、近接の病院等から看護師等が駆けつけられる等、迅速な対応が可能であれば常駐を要件としないとされており、今、シルバー人材センターでやっていただいているが、大持ドクターに協力していただいて対応している。開所時間は9時から17時。

委員長：急変した時にはどのようになるか。

事務局：大持医院に協力してもらっているので、病状が悪化した時にはドクターに診てもらおう。

委員長：常駐している職員は保育士と看護師で、急変した場合には、大持ドクターの判断で救急車を呼ぶ等の対応となるという事か。

事務局：そうである。

委員長：その他にどうか。

委員：資料3の1ページについて、児童クラブ施設を新築することだが、葉梨の小学校で臨時の教室を作った際、今は子どもの数が増えていてもその先はわからないということで、新しい教室は耐用年数10年くらいのものにしたと聞いている。今回の児童クラブの建物はどういう考え方でどれくらいの規模のものなのか。

事務局：葉梨の児童クラブについては、定員40名の施設を整備する。木造平屋建て。敷地の形状等、学校とも協議をし、児童一人あたりの基準面積(1.65㎡)をクリアする中で、施設整備を進めていく。今後の児童の推移については、当面の間は、葉梨の児童クラブの児童数も葉梨小学校に追随していくと考える。今回の施設は木造なので15年から18年くらいの耐用年数である。現在の建物が、ある程度年数が経過しているため、新たな施設と併用していく。

委員長：資料3の2ページについて、保育定員の増についてはどんな内訳か。

事務局：駿河台こども園で75人、大洲こども園で75人。施設整備は伴わないが、こぼと幼稚園が認定こども園になり定員が60人増える。また、藤枝橋幼稚園の増築で15人定員が増える。合計で225人の定員が増えることとなる。小規模保育所の整備を含めると、300人の定員増

となる。

報告事項（２）（３）を一括説明

議 事：【報告事項】（２）藤枝市保育士・幼稚園教諭人財バンク「enjob ふじえだ」について
（資料４に基づき事務局が説明）

議 事：【報告事項】（３）国の子育て安心プランについて
（資料５に基づき事務局が説明）

委員長：資料５にあるように、国はM字カーブを解消するつもりでいるのか。

事務局：子育て安心プランのポイントに、「M字カーブ解消のため、女性の就業率80%に対応できる受け皿整備」とあるように、国ではM字カーブをゆるやかにしたいと考えている。

委員長：育休の人は働いている人のカウントになるのか。就業していて休んでいるので、M字の原因からは外れるのか。

事務局：国の考え方を確認しておく。

議 事：【報告事項】（４）子ども発達支援センター事業報告
（別紙に基づき事務局が説明）

委 員：「親塾」は、一般の親御さんも参加できるか。

事務局：一般の方も参加できる。お友達が発達に課題があり参加したいという申し込みや、市外からも、自分の市ではこういう開催がないので参加したいという申し込みもあり、掛川や静岡からも参加がある。

（11時30分議事終了）